

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社CAPITA 上場取引所 東  
 コード番号 7462 URL <http://www.capita-inc.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 宮田 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 新島 裕一 (TEL) 03(6277)5015  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,559	—	1	—	△12	—	83	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 83百万円 —% 2025年3月期第3四半期 一百万円 —%

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	22.68	—
2025年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,905	1,936	36.8
2025年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,807百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 2026年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値及び対前年増減率は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年3月期	—	5.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	11.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,230	—	22	—	2	—	165	—	44.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) バイオ・サイト・キャピタル株式会社、除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,111,000株	2025年3月期	4,111,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	10株	2025年3月期	507,050株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	3,703,474株	2025年3月期3Q	3,603,950株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の連結業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績予測の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっては、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照下さい。

(参考) 個別業績の概要

2025年12月期の個別業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,559	△42.2	56	△25.3	42	△38.4	139	287.2
2025年3月期第3四半期	2,697	16.6	76	61.4	69	76.7	35	39.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	37.60	—
2025年3月期第3四半期	9.98	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,696	1,862	39.7
2025年3月期	2,888	1,524	52.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,862百万円 2025年3月期1,524百万円

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用や所得の環境の改善は続き各種政策の効果により緩やかな回復基調に推移しているものの個人消費の低迷、国際情勢の不安定、各国それぞれの金融政策や円安等のさまざまな要因により、経済活動は混沌となりました。

このような状況の下、当社におきましては地域の皆様を中心としたライフラインの機能性が高い事業を営む企業として、「安全・安心」と「安定供給」を最優先し、経営資源の有効活用をテーマに環境に応じた運営方針により、業績の回復に努めてまいりました。

また、当社は当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、連結ベースでの前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第3四半期連結累計期間の売上高は15億59百万円、営業利益は連結決算により1百万円、経常損失は12百万円、税金等調整前四半期純利益は1億22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は83百万円となりました。M&A関連費用55百万円を計上したことに伴い営業利益以下段階利益は減少しております。

(株)CAPITA個別の業績につきましてはサマリー情報の参考欄のご参照をお願いいたします。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### (石油事業部)

石油事業におきましては、燃料油販売は補助金の継続から価格は安定しておりましたが、当社では販売網の縮小もあったことから、販売数量、売上共に減少となりました。

当社SS事業部に関しましては、直営SS2店舗の閉店を行い人材の集中化を図りました。販売数量と適正な口銭(マージン)確保を根幹に収益の確保を継続するとともに、コーティングや車検・車販、レンタカーなどを中心とした油外収益の改善を行いました。

これらの結果2025年12月期のSS事業部に関しましては前年同期と比べ、減収増益となりました。

石油商事事業部は、石油卸部門では仕入れ先の見直しや営業コストの見直しは継続的に行っております。また、原油価格の高騰による業績への影響を最小限に抑える為、小口配送やその他出荷形態などで、お客様の細かな要望に応える事に努め、引き続き収益基盤の確立を行っております。販売数量に関しましては、インタンクユーザーの施設老朽化や顧客ごとの利益性の見直しから、前年マイナスとなりました。燃料口銭(マージン)に関しましては補助金による価格安定の効果もあり堅調を維持しました。また物販部門においてはメインであるゴムネットの販売以外にも新商品の取り扱いをスタートし事業拡大に努めております。

これらの結果、石油商事事業部は販売管理費の見直しも行ったものの、減収減益となりました。

石油事業全般におきましては、売上高13億36百万円、営業利益81百万円となりました。

今後、ガソリンと軽油にかかっている暫定税率の廃止から燃料油価格高騰も収束傾向になり、当社石油事業に対する、お客様のご利用も活性化が予想されますので、積極的な顧客満足への取り組みを行い、顧客獲得に努めてまいります。

#### (専門店事業部)

専門店事業部におきましては、自転車業界を取り巻く課題、昨今の物価高、円安の影響もあり自転車本体の価格高騰が続く影響で依然として新車の買い替え需要が減少しております。2025年度も専門店事業部の営業活動としては、SNSやホームページのブログ、外部媒体を活用した情報発信を基軸に集客販促活動に努め、販売力向上に取り組み、店舗利用価値の向上に努めました。

これらの結果、専門店事業部におきましては、売上高88百万円、営業損失15百万円となりました。

専門店事業部におきましては、2025年7月1日に事業譲渡を行いました。

#### (不動産事業部)

不動産事業部におきましては、当社の巣鴨ダイヤビルは満室状況であり、計画的な修繕を継続しつつ、ビルの資産価値の維持と入居者様への安全・安心の提供に努めております。仙台のセルフ岩切についても引き続き安定した賃料収入を維持しており、トランクルームの運営につきましても安定した状況が続いております。これらの結果、不動産事業部におきましては、売上高1億35百万円、営業利益1億2百万円となりました。なお、川口ダイヤピアは7月に資産入れ替えの為に売却し、収益性の高い販売用不動産を5件取得しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、49億5百万円、純資産は19億36百万円となりました。資産のうち

流動資産は33億71百万円、固定資産は15億34百万円となりました。これらの内容の主なものは、商品18億55百万円、現金及び預金12億62百万円、土地10億92百万円によるものであります。

負債につきましては29億69百万円となりました。負債のうち流動負債は9億23百万円、固定負債は20億46百万円となりました。これらの内容の主なものは、短期借入金5億4百万円、長期借入金17億7百万円によるものであります。

純資産につきましては、これらの内容の主なものは資本剰余金4億26百万円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2026年2月13日公表の連結決算移行に伴う連結業績予想に関するお知らせのとおりとなっております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,262,865
売掛金	169,761
商品	1,855,786
その他	82,921
流動資産合計	3,371,333
固定資産	
有形固定資産	
土地	1,092,278
その他	131,360
有形固定資産合計	1,223,639
無形固定資産	
のれん	12,187
その他	1,543
無形固定資産合計	13,730
投資その他の資産	
投資その他の資産	297,027
投資その他の資産合計	297,027
固定資産合計	1,534,397
資産合計	4,905,731
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	32,264
短期借入金	504,000
1年内返済予定の長期借入金	217,219
未払法人税等	82,901
その他	86,776
流動負債合計	923,161
固定負債	
長期借入金	1,707,181
その他	339,163
固定負債合計	2,046,345
負債合計	2,969,506

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2025年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	90,000
資本剰余金	426,463
利益剰余金	1,058,734
自己株式	△1
株主資本合計	1,575,196
その他の包括利益累計額	
土地再評価差額金	232,203
その他の包括利益累計額合計	232,203
非支配株主持分	128,825
純資産合計	1,936,224
負債純資産合計	4,905,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,559,859
売上原価	1,081,727
売上総利益	478,132
販売費及び一般管理費	476,513
営業利益	1,619
営業外収益	
受取利息	784
受取配当金	554
その他	1,262
営業外収益合計	2,601
営業外費用	
支払利息	16,911
その他	34
営業外費用合計	16,946
経常損失(△)	△12,725
特別利益	
固定資産売却益	112,348
事業譲渡益	26,672
特別利益合計	139,021
特別損失	
店舗閉鎖損失	3,967
特別損失合計	3,967
税金等調整前四半期純利益	122,328
法人税、住民税及び事業税	82,978
法人税等調整額	△44,638
法人税等合計	38,339
四半期純利益	83,988
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,988

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
四半期純利益	83,988
四半期包括利益	83,988
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	83,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、当社を株式交付親会社とし、バイオ・サイト・キャピタル株式会社を株式交付子会社とする簡易株式交付を実施し、自己株式507,090株を交付いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が150,024千円、自己株式88,815千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が426,463千円、自己株式が△1千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	専門店事業	不動産事業	計		
売上高						
一時点で移転される 財又はサービス	1,336,402	88,336	629	1,425,369	—	1,425,369
一定の期間に移転される 財又はサービス	—	—	134,490	134,490	—	134,490
顧客との契約から生じる 収益	1,336,402	88,336	135,120	1,559,859	—	1,559,859
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,336,402 —	88,336 —	135,120 —	1,559,859 —	— —	1,559,859 —
計	1,336,402	88,336	135,120	1,559,859	—	1,559,859
セグメント利益 又は損失(△)	81,688	△15,105	102,505	169,089	△167,470	1,619

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△167,470千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用は△167,470千円であり、そのうち、△55,249千円はM&A関連費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	13,334千円

(企業結合等関係)

(簡易株式交付による子会社化)

当社は、2025年9月30日開催の取締役会において、バイオ・サイト・キャピタル株式会社を株式交付子会社とする株式交付を実施することを決議しました。2025年11月7日付で株式交付により同社を子会社としました。

詳細につきましては、2025年9月30日に公表しました「簡易株式交付によるバイオ・サイト・キャピタル株式会社の子会社化に関するお知らせ」および、2025年11月7日に公表しました「(開示事項の経過) 簡易株式交付によるバイオ・サイト・キャピタル株式会社の子会社化の結果に関するお知らせ」をご参照ください。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載したとおりであります。